

### 第三者評価結果

事業所名：天才キッズクラブ陽だまりの家武蔵小杉園

#### 共通評価基準（45項目）

#### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価結果
【1】 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> 保育理念・保育方針はパンフレット・園のホームページに掲載しており、保護者や園見学者に説明しています。園では保育理念の「や らせない・教えない・無理強いしない」に向けた保育に取り組んでいます。	

#### 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
【2】 I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<コメント> 園長は会議や連絡会などで地域の社会福祉事業の把握に努めており、園の取り組みなど本部と情報共有しています。本部は姉妹園があ る強みを活かし、園の運営に関することや利用率の管理や分析など事業経営をとりまく環境の分析をおこなっています。	
【3】 I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
<コメント> 本部の園長会では明確化した経営課題など情報共有しており、園長は職員会議で報告しています。園では入園児を増やすため園見学者 の受け入れや、子育てサロンを通じて積極的に保育内容や活動を発信しています。	

#### 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
【4】 I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c
<コメント> 本部にて、中・長期計画の策定に取り組んでいます。	
【5】 I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c
<コメント> 中長期計画を踏まえた計画の策定に取り組んでいます。	

(2) 事業計画が適切に策定されている。	
【6】 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<コメント> 本部が作成した全体的な計画をもとに、行事計画など園の方向性に合わせて策定しています。保育計画は担任がクラスの様子やこどもの状況に合わせて作成しており、期ごとに評価・反省する仕組みがあります。	
【7】 I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<コメント> 年間の行事計画は保育ICTシステムを通じて保護者に周知しており、玄関に掲示しています。保護者が参加する行事はこどもの成長を見ていただく機会と考えており、参加していただけるよう土曜日に実施するなど工夫しています。年度初めに予定を周知し、日程など詳細は適時案内しています。	

#### 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者評価結果
【8】 I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<コメント> 園は会議でクラスの様況やこどもの様子など情報共有して、指導計画の評価・反省を話し合っています。職員は毎月、自己評価システムにて自身の保育を振り返っており、定期的に面談をおこない保育サービスの質の向上に取り組んでいます。	
【9】 I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<コメント> 園では姉妹園がある強みを活かし他園での改善対策も参考にして保育の実施状況を評価しており、必要に応じて見直しなど検討しています。	

## II 組織の運営管理

### 1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
【10】 II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<コメント> 本部では、姉妹園の組織図を作成して全園の職員体制を示しています。園長は職務分担表を作成しており、年度初めの職員会議で周知しています。非常災害対策を整備しており、保護者には重要事項説明書や玄関の掲示にて周知しています。	
【11】 II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<コメント> 園長は川崎市が主催する勉強会や、本部からの情報から遵守すべき法令を理解し園の運営取り組んでいます。事務所には「保育の質ガイドブック」「保育所における虐待防止・発生時の対応等に関するガイドライン」を常置しており、職員と情報共有しています。	

<p>【12】 II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 園長は日頃からこどもの様子や保育の状況を把握しており、保育書類などの確認をおこない本部と連携を図っています。園では、その日のこどもの降園時間をホワイトボードに表示し、職員間で情報共有しています。園では職員の研修受講を推奨しており、非常勤職員も必要に応じて受講するなど保育サービスの質の向上に取り組んでいます。</p>	
<p>【13】 II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 園の人事・労務・財務状況などは本部が主体となり、園と連携を図り運営に努めています。園では保育の方向性を共有し、本部オリジナルのコミュニケーションツール「ハイタッチ」しながら挨拶を交わすなどチームワーク向上の取り組みをおこなっています。</p>	

## 2 福祉人材の確保・育成

<p>(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p>	第三者評価結果
<p>【14】 II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 本部が主導して求人活動をおこなっており、園では求人ポスターを掲示するなど協働して取り組んでいます。園では中途採用者から希望があれば園見学や保育体験など対応しています。採用者には、本部にて入職者研修をおこない、園では面談など通じて育成計画を立てています。</p>	
<p>【15】 II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 本部は理念や基本方針にもとづいた期待する職員像を示し、自己評価シートを活用し自身の取り組みを振り返る仕組みがあり、定期的に面談をおこなっています。本部では昇進・昇格の人事基準を定めており、総合的な人事管理を整備しています。</p>	
<p>【16】 II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 園長は職員の就労意向を確認してシフト調整しています。園はICTシステムの導入により、職員の勤務状況や有給休暇の取得状況を把握・管理しており、有給休暇が取得しやすいよう職員同士の協力など連携を図れています。また、福利厚生として健康診断・予防接種補助制度など、職員が安心して働ける環境を整えています。</p>	
<p>(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p>	
<p>【17】 II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt; 自己評価項目では、理念・保育方針への取り組み状況・勤務姿勢・社会人としての姿勢・保育の専門性など、さまざまな視点から自身を振り返る内容となっています。園長は自己評価結果をもとに面談をおこなっており、職員の目標到達度の共有をするなどの取り組みを課題としています。</p>	

【18】 II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
--	---

<コメント>  
本部の研修チームが研修動画を作成しており、職員は資質向上に取り組む環境を整えています。さらに園では、救命救急研修としてAED（自動体外式除細動器）の使い方や、心肺蘇生法など実践的な研修をおこなっています。

【19】 II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
--	---

<コメント>  
職員一人ひとりの専門資格や研修の受講歴は、保育職員育成ICTシステムにより管理しています。研修計画は、経験や適性と本人の希望と、園として必要と判断する研修の受講を勧めています。新任職員にはOJTを取り入れており、実践を通して知識とスキルを身に付けられるようにしています。園長は職員一人ひとりが教育や研修の場に参加しやすいよう、シフトの調整をおこなっています。

(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

【20】 II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c
--	---

<コメント>  
実習生の受け入れをおこなっていきたいと考えており、今後の取組が期待されます。

### 3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
【21】 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a

<コメント>  
園のホームページ・パンフレットにて、理念・教育方針・保育内容・設備環境などの情報が公開しています。保護者には重要事項説明書にて苦情・相談の体制を明記しており、玄関には意見箱を設置しています。

【22】 II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
---	---

<コメント>  
園長は本部と連携を図り透明性の高い経営・運営に取り組んでいます。園では事務・経理などは本部の規定に従って運営しており、小口現金の管理は毎月本部に報告をしています。園は本部からの巡回時に書類の管理などについて助言をもらいながら適正に業務を遂行しています。

#### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
<p>【23】 II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 園の隣に姉妹園があり定期的に交流する機会を設けており、夏祭りや餅つきなどのイベントは合同でおこなっています。保護者には玄関に地域の子育て家庭に向けたリーフレットなど常置して情報提供しています。</p>	
<p>【24】 II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	c
<p>&lt;コメント&gt; ボランティアの受入れ体制は整えておりますが、基本姿勢など明文化することを今後の課題としています。</p>	
(2) 関係機関との連携が確保されている。	
<p>【25】 II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 園では地域の関係機関や団体との連携に努めており、入園のしおりには嘱託医や緊急時の連絡先を明記して周知しています。消防署とは避難訓練時に連携を図っており、戸外活動の際は立ち寄りこどもが消防車を見学させてもらっています。発達支援センターの職員による巡回では相談できる体制を整備しています。</p>	
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
<p>【26】 II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 園長は川崎市が主催する園長会や連絡会など通じての情報を収集し、具体的な福祉ニーズや生活課題を把握しています。また、園見学者からの育児相談を受けるなど地域の子育て家庭を支援しています。</p>	
<p>【27】 II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 本部では福祉ニーズに応えるため、オンラインサロンを開催して子育てに関する相談を受付けるなど親子支援をおこなっています。園では戸外活動時に、職員と子どもたちが公園のゴミ拾いをするなど地域に向けた活動に取り組んでいます。</p>	

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施  
1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
<p>【28】 Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 園では保育理念の「やらせない・教えない・無理強いしない」が職員の行動指針として保育に取り組んでいます。職員は「人権擁護のためのセルフチェックリスト」にて自身の保育を振り返り、職員会議では不適切保育について話し合っており、保育雑誌などから幅広い内容で勉強会をおこない子どもを尊重する保育について共通理解して保育に努めています。</p>	
<p>【29】 Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 園では、おむつ交換する際は衝立など使用して他の人の目に触れぬように、子どもが着替える際には着衣の上下を同時に脱ぐことがないように子どものプライバシーに配慮した保育に努めています。</p>	
<p>(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>	
<p>【30】 Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 園のパンフレットは写真やイラストを使用して、保育目標、園の一日の流れや年間行事などを記載しています。ホームページでは園の紹介動画を公開しており、保育活動の様子や、理事長から保育に関する取り組みの説明など、入園を検討している保護者に向けて情報発信しています。園の見学時には、希望により保育活動に取り入れているフラッシュカードと一緒に体験してもらうなど実際に参加してもらっています。</p>	
<p>【31】 Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 入園時に重要事項説明書に沿って園の概要や保育内容について説明しており、個別面談では子どもの育ちに関する情報を収集しています。保護者からは、重要事項、個人情報の取扱いに関する同意の確認をしています。</p>	
<p>【32】 Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 入園のしおりにて、園の利用終了に関する事項を明記して保護者に周知しています。転園先からの問い合わせには、保護者に確認をしながら個人情報の取扱いには細心の注意を払って対応しています。</p>	

(3) 利用者満足の向上に努めている。

【33】 Ⅲ-1-(3)-①  
利用者満足向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。

a

<コメント>

こどもの言葉・表情・行動から気持ちや要求を把握するよう心掛けています。保護者とは保護者会や面談、行事後のアンケートから感想や意見を把握しています。アンケート結果は職員会議で共有しており、保育サービスの向上に努めた取り組みをおこなっています。

(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

【34】 Ⅲ-1-(4)-①  
苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。

a

【判断した理由・特記事項等】

苦情解決の体制を整備しています。保護者には重要事項説明書にて苦情相談窓口と担当者を明記し周知しています。園内には意見箱を設置し、意見を申し出しやすい工夫をおこなっています。

【35】 Ⅲ-1-(4)-②  
保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。

a

<コメント>

園では保護者と登降園時にコミュニケーションを図り、こどもの姿を共有しています。保護者が意見を述べやすいよう連絡帳・意見箱の設置など複数の相談受け窓口を周知しており、相談時には落ち着いて話ができるスペースを整えています。

【36】 Ⅲ-1-(4)-③  
保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。

a

<コメント>

保護者とは日頃から気軽に話をしていただけるよう風通しの良い関係を心掛けています。保護者から相談を受けた際は職員や本部と連携を図り、迅速な対応に努めています。

【37】 Ⅲ-1-(5)-①  
安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。

a

<コメント>

園内には「保育施設における事故防止 五か条」を掲示し職員に周知しており、園内研修ではAEDの使い方や心肺蘇生の研修をおこなっています。園では、ヒヤリハット・外傷記録にて職員間で共有を図り、防止策や改善策を協議する仕組みを構築しています。

【38】 Ⅲ-1-(5)-②  
感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。

a

<コメント>

感染症に関するマニュアルを整備し、感染症の予防策と発生時の対応を職員は共有しています。保護者には入園のしおりにて登園許可書が必要な感染症や急病時の園での対応について、保健だよりでは感染症に関する正しい情報と健康管理の情報を提供しています。

【39】 Ⅲ-1-(5)-③  
災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。

a

<コメント>

園では消防署に防災避難訓練計画書を提出しており、毎月の避難訓練を実施しています。園内には避難経路の掲示や消火器を設置しています。保護者には、入園のしおりにて災害時の対応や避難場所を周知し、保護者の協力のもと引き渡し訓練をおこなっています。

## 2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
<p>【40】 Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 本部では各種の保育マニュアルを整備し、オンラインを活用した法人内研修を実施しています。園内にはさまざまな職員行動手順を掲示しており、発熱時の対応や睡眠時のチェック方法など職員により保育内容に差異がないよう適切に取り組んでいます。</p>	
<p>【41】 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 保育内容については職員会議にて情報共有をおこない、検証・見直しをする仕組みがあります。園ではこどもの状況に応じた保育内容となっているか話し合っており、年度末には評価、反省、振り返りをして次年度計画に反映させています。</p>	
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
<p>【42】 Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 保護者から入園時に提出された個人観察記録でこどもの成長過程を確認して、職員で共有しています。会議では定期的にあセスメントをおこなっており、看護師・栄養士・療育センターの職員など専門的な視点での意見を取り入れこども一人ひとりに配慮した指導計画を作成しています。</p>	
<p>【43】 Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 職員は期ごとにクラスの様子やこどもの姿から指導計画の評価・反省をおこない、次期の計画に反映させています。保護者には園だよりを通じて保育のねらい・園の取り組みを周知しています。</p>	
<p>【44】 Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 園ではこどもの発達状況や生活状況は川崎市の定めた個別観察発達記録に記録しており、職員はICTシステムにより確認しています。記録する際は、こどもの経験したことなどを記録するよう統一しています。職員の早番・遅番による引き継ぎは、情報共有メモや職員メッセージアプリを利用して情報共有しています。</p>	
<p>【45】 Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 園では個人情報の取扱いマニュアルにもとづき、管理徹底しており情報漏洩対策に努めています。職員は入職時に個人情報規程の説明を受け誓約書を提出しています。保護者には重要事項説明書にて個人情報の取り扱いを説明し同意書の提出をお願いしております。</p>	